



# みどり便り



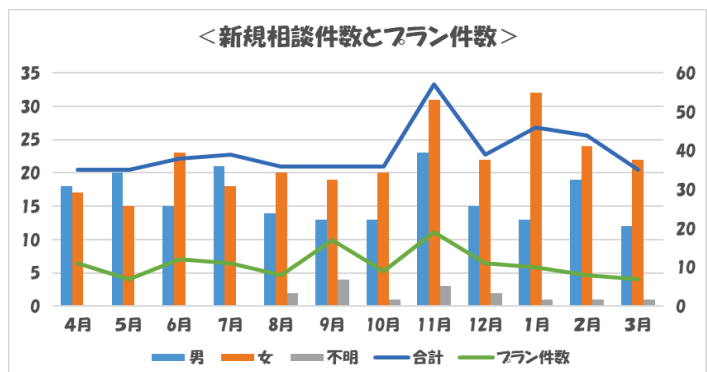
## [千葉市] 生活自立・仕事相談センター緑

向夏の候、紫陽花が色鮮やかに咲くのを心待ちにしています。皆様はいかがお過ごしでしょうか。本事業が始まり2年8ヶ月、相談・支援は定着しつつありますが、まだまだ地域への浸透が必要です。本号では簡単に事業状況についてご案内させていただきました。今後とも皆様のご指導とご協力の下で精進して参りたいと考えております。何卒よろしくお願いいたします。

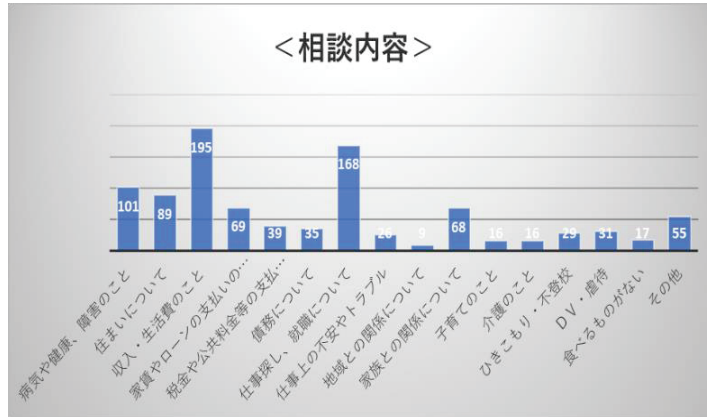
### ～ 令和4年度事業概況 ～

#### 1. 令和4年度の相談状況

令和4年度の新規相談受付件数は464件(約39件/月)の相談を受けています。その中で、131件のプランを作成し、伴走型の支援を行ってきました。比較的女性からの相談が多いことが特徴として挙げられます。



主な相談内容は「収入・生活費のこと(41%)」と「仕事探し(35%)」が多くなっています。「病気や健康、障害のこと(21%)」が次に多くなっており、相談者の約5分の1が何かしらの病気や障害を抱えています。グレーゾーンの方や疑いはあるが障害受容がない方も含めると、この数字以上の方が、病気や障害を抱え、安定して働くことができず、社会の中で生きづらさを感じていることがわかります。年齢的には50代の相談者が多く、病気や障害、親の介護、転職が困難になってくる等、複合的な課題を抱えやすい年齢と言えます。(長谷川 稔)



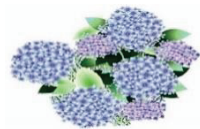
#### 2. アウトリーチ支援の状況



郵便局、公民館、コンビニ、スーパーなど公共施設や住民生活に近い事業所など延べ約160ヶ所を訪問し、相談センター緑の事業説明を行い、住民あるいはその施設の利用者様とご家族様への周知活動への協力をお願いしました。

行政機関や連携機関への事業説明の他、認知症カフェ、いきいきサロン、脳トレなど地域のサークル参加住民や民生委員児童委員の皆様への事業説明を行いました。民生委員児童委員協議会地区定例会(11地区)での事業説明では、委員の方々との交流の他、地域の困りごと相談につながるお話を伺うことができました。住民主催のサークル活動においては、事業説明・周知活動と併せて「なんでも相談会」を開催し困りごとを傾聴、当日焼芋機で焼き上げた焼芋を提供しました。その他、あんしんケアセンター土気、ふるさとハローワークみどり、ひきこもり地域支援センターと共催で出張相談会を開催し持続的なネットワークづくりを行うとともに、ひきこもり世帯や高齢で交通機関が利用できない世帯などへ自宅訪問や同行支援を行いました。(庄村秀泰)





## ～ 令和5年度事業計画 ～

- 「断らない相談支援」「アウトリーチによる支援」を基本に早期発見・早期支援に努めます。
  - 各あんしんケアセンター、基幹相談支援センター、社会福祉協議会等との連携を強化し、安心して暮らせる地域づくりに貢献します。
1. 住民組織、関連事業者、連携機関等への継続的な周知活動・ネットワーク活動を通じて支援対象者の**早期発見・早期支援**に努めます。①本事業の説明をしたチラシ類の備置・配布。②事業説明、本事業の普及・要支援者掘り起こしの依頼。③出張相談会の開催。④フードパントリーの開催（食料提供を通じた掘り起こし）。⑤広報紙発行（連携機関等への活動報告）。
  2. **相談支援**として、どんな相談であっても一旦受け止めお話をお聴きします。①電話、来所、訪問（相談者の状況により自宅、連携機関等へアウトリーチ）。②アセスメント → プラン作成 → 他機関連携 → 伴走型の自立支援。
  3. **就労支援**として、①ハローワークとの連携により早期就労につなげます。②困難な場合、就労準備支援事業と連携します。
  4. **日常生活支援**として、①生活困窮の要因によっては世帯全体、家族に対して必要な支援を行います。②社会的孤立から必要なサービスに辿り着けない相談者に関しては、病院・区役所・年金事務所等への同行支援を行います。
  5. **他機関との連携**として、「ひきこもり」「DV・虐待」「家計改善」「就労」「住宅」など、課題別に連携すべき機関に速やかに繋がります。
  6. **地域づくり活動** ①住民組織、関連事業者、連携機関等への周知・ネットワーク活動を行います。②子ども食堂、学習支援事業、困難事例検討会に協力・連携します。③地区の民生委員児童委員様との関係づくりに取り組みます。④支援を必要としていながらも自ら行動できない世帯を発掘していき、ひきこもりや社会的孤立状態にある家庭への訪問・面談・同行支援を行います。（庄村秀泰）



## ～ 子どもナビゲーター（通称「子ナビ」）の活動報告 ～

緑区は昨年10月から子ナビ事業が始まり、半年で44件のご相談がありました。そのうち、保護者への相談対応で支援機関や制度等のご案内をしたケースが15件、家庭訪問等で子どもとの面談等の直接支援をしたケースが13件ありました。関係機関から支援が必要ではないかとの情報を頂いてもその家庭からの訴えがなく、支援につなげられないケースもありました。今年度は関係機関との連携をさらに深め、そういった家庭へも支援につなげられるようにしていきたいと思っております。

周知活動として、緑区民生委員児童委員協議会の各地区定例会や子ども食堂を訪問し、子ナビの活動についてお話をさせていただきました。また子どもの学習・生活支援事業利用者に食糧提供とともにセンター緑・子ナビチラシを配布させていただきました。（鳥海みづえ）



《新任職員紹介》 小林茉央（こばやし まひろ）

4月1日付けで入職しました。千葉県東金市の出身です。まだまだ社会人なり立てで分からないことばかりですが、笑顔を忘れず、相談に来られた方や地域の方々と関わり、皆さんの暮らしを支援していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

●天候不順の日が続きますが、皆様、お体には十分お気をつけ下さい。

◇ 千葉市生活自立・仕事相談センター緑 ◇

◇ 千葉市緑区鎌取町226-1 緑保健福祉センター2階(TEL:043-293-1133,FAX:043-291-1899)

◇ e-mail: [midori@npo-link.jp](mailto:midori@npo-link.jp) 編集：庄村秀泰 発行責任者：吉井 稔

